

# **別府から全国へ！ 「オンパク」で地域資源を掘り起こす**

NPO法人ハットウ・オンパク  
野上 泰生

## **自己紹介**

- ・野上 泰生
- ・S40年別府生まれ別府育ち
- ・大学から東京 商社勤務
- ・家業の旅館を継ぐ為にH6年に帰郷
- ・H10年からまちづくり活動
- ・ミッショニは、「別府の活性化」「まちづくりを生業にできる社会を創る」こと。

## 紹介

- NPO法人ハットウ・オンパク
- H13年前身となる「オンパク実行委員会」
- H16年NPO法人化
- ミッションは、「別府の活性化」「まちづくりを生業にできる社会を創る」こと。



## 竹瓦を守る まちづくりの開始

- 「湯布院みたいにせんと いけんやろう？」
- 10年に「別府八湯竹瓦俱楽部」代表
- 竹瓦温泉の保存を目的
- 有名にして壊せなくする

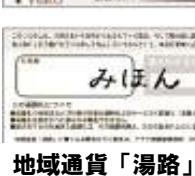




路地裏散歩



夜の路地裏散歩



地域通貨「湯路」



路地裏文化祭

## 増えていく仲間 地域に広がる根っこ



サロン岸に集う仲間 「岸ママブログ」

## 見えてきた課題

- ・ 地域の人は地域を知らない  
→知れば知るほど好きになる
- ・ 人は主役になると変わる  
→メディアの力を利用する

水口 民子さん

竹瓦温泉前でカフェTAKEYA経営  
まちづくりに目覚め  
若者のお世話  
木造アーケードの保存  
たみこの「夢弁当」



## 見えてきた課題

- ・「どうして こんな すばらしいことを  
もっと おしさせ しないのですか？」
- ・「まちづくりはたいへんですね・・」
- ・「ワカモノ」「ヨソモノ」「バカモノ」
- ・「関係」 X 「経済」 X 「環境」

まちづくりは人を変える  
人が変われば地域は変わる

まちづくりにはモデルがない  
モデルを作れればすごい

まちづくりを生業にしたい

## オンパク

- ・H13年に開始
- ・地域の多彩な魅力を体験交流型のプログラムを通じて伝える
- ・大型イベントの正反対をやる
- ・多くの人を主役にして変えていく
- ・地元にこだわる

## オンパク・ガイドブック



## 「オンパク」の役割

- ・=地域づくりの取組を支援すること

地域資源  
発掘して  
活かす

地域人材  
主役にして  
育てる

地域経営  
収益をあげ  
持続する

## 「オンパク」の事業構造

- ・小規模で多様な「プログラム」
- ・地域人材である「パートナー事業者」
- ・地元住民による「会員組織」

多様な資源や人材を活かす地域経営の手段

## オンパク・プログラム

- ・体験・交流イベント
- ・小規模なものが多い  
(5-30名)
- ・地域資源を活かす
- ・地域人材が主役

延べ  
1500  
種類

## 散策・地域文化体験プログラム



あらゆる取り組みの基礎となる活動

## 温泉体験プログラム



天然温泉力の  
すごさを情報発信

## 食のプログラム



食による交流文化の提案

## お出かけプログラム



広域連携により  
周辺の地域と結びつく

## 美容サービスプログラム



個人を対象にした、エステプログラムなど

## スポーツ・健康プログラム



地域住民の為の  
健康や趣味の  
プログラム

## カルチャープログラム



伝統文化の継承  
歴史的空間の活用など

## オンパク・パートナー

- ・まちづくりグループ
- ・NPO
- ・個人事業者や企業

200超  
の地域人材  
ネットワーク



河野さん  
=鉄輪温泉のまちづくり



高崎さん  
=朝見地域のまちづくり



はとこさん  
=文化の振興



永井さん  
=農村体験を通じた地域づくり



林さん  
=温泉泥をビジネスに



山田さんチーム  
=宿の再生と日本文化

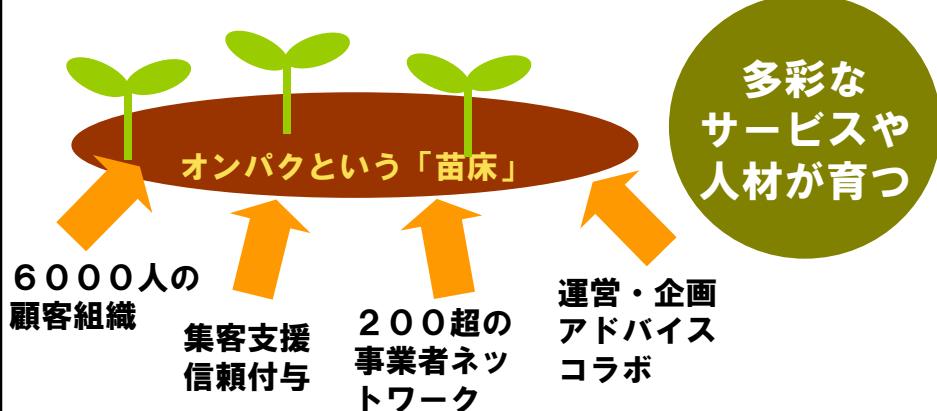


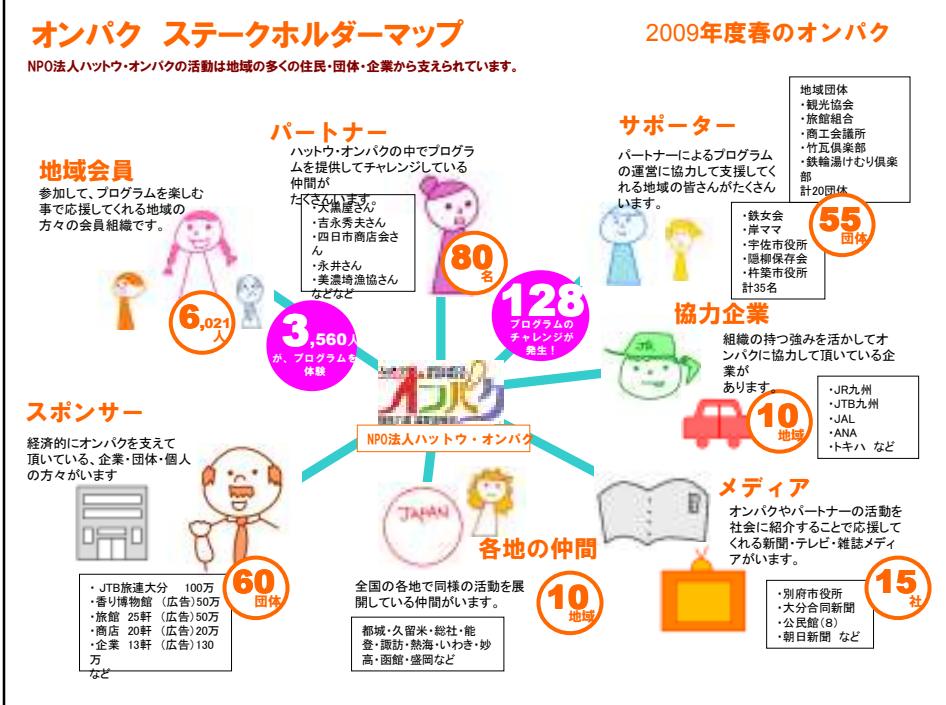
## オンパク・ファン俱楽部

- ・地元住民リピート顧客層
- ・参加者の70%近く



## オンパクは地域の苗床になる





## 全国へ 岡山県総社の事例



総社の 加藤 せい子さん



## 全国へ 総社での成果

開催期間：9月27日から25日間  
プログラム数：15種類 のべ17回  
集客実績：定員294名に対し  
集客286名 97%

集客地域：総社市内62%、市外38%

初回のみちくさ小道では、  
13のまちづくり組織が参加し、  
6の新規サービスのテストと、  
7の既存サービスのプロモーション  
が実施されました。

延べ41の地元事業者らが、個々の  
プログラムの開催に協力しました。

結果、地域資源を活かした商品開発や  
健康サービス、散策ガイド事業などの  
4つのコミュニティ・ビジネスの種が  
芽生えました。

参加者にも、とても好評でしたので、  
09年春の開催が決まりました。

この活動にかかった経費は人件費（約80万）を除くと、75万円でした。



「みちくさ小道」好評です

## 全国へ 热海



## ジャパン・オンパク プログラム

- ・各地でオンパク事業を主体的に行う人材をサポート
- ・研修会、現地でのアドバイスによる理念・ノウハウの共有
- ・ウェブシステムなどの基盤の提供
- ・連携・協働による価値の増大
- ・<http://japan.onpaku.jp> (H22.3月完成)
- ・H22年4月に社団法人化の予定



## 増えていくNPO内ベンチャー ～市民が作る旅のプログラム



<http://jinetabi.onpaku.jp>

## 増えていくNPO内ベンチャー ～外国人個人旅行者を呼ぶ



<http://Beppu.SlowTripJapan.com>

## **若者が地域を変えるには**

- ・多様性（＝持続性）を確保
- ・組織<ポジション の確保
- ・走りながら考える
- ・合意形成はしない
- ・キャスティングボードを渡さない

**ありがとうございました**

本日のプレゼン資料は日本財団公益ポータルサイト「CANPAN」から「オンパク」で検索して、ダウンロードしてください。